

向陽台病院インフォマガジン

こもれび

春

創刊号

発行:2004年3月30日
向陽台病院広報委員会



こもれび特選・肥後狂句

ごめんください うちに金はありません

デイ케어 仕事のように 気を使い

いちかばちか もう押し車は使わんぞ

あれもダメこれもダメ 死ぬまで続く健康指導

晴れても雨でも 今の暮らしに憂いなし

食べたかな? 食べたいけれど 言い出せず

IT機 自分の金も ままならず

ゆっくりゆっくり 早口で論される

ボケのはなし 聞いても怖し 聞かなくても怖し

一家団欒 家族であって ないような

どうしたら 嫁より長生きできますか?

内緒の話 嫁より息子 息子より娘がいい

元気かい? 思い出せずに懐かしむ

シルバー席 譲られたのに 知らんふり

いつかきた道 戻りたくても 戻れない

杖から車イス それでもリハビリ 精を出す

新デイケア棟4月1日OPEN!

月～金曜日の昼間はデイケア活動をしています。それ以外は地域の皆さまの活動にご利用ください。

CONTENTS

向陽台病院インフォマガジン

「こもれび」を創刊しました

■ 各部からのメッセージ

■ としおとこ・としおんな 創刊の夢・ひとこと

■ ことし成人式を迎えたスタッフ

■ こもれび・ぷらざ

向陽台病院の理念



主体性を育む病院

- 主体性が障害されている患者さんであっても、同時に多くの未知数の能力を持っている
- 患者さんは責任ある行動をとりうるし、援助能力を持っている
- 治療導入時は受動的であっても、最終目標は患者さんの主体性をとり戻すことである

援助者としてのチーム医療を行う病院

- 患者さんの援助者として、表面的でなく、必ず治療的である
- チーム内の決定は民主制を取っているわけではないが、治療上の重要な決定はチームによって成されることが最良である
- チーム内での情報の共有化は極めて大切であるが、いかなる情報も外部に漏らしてはいけない(守秘義務)

地域社会の一員を意識する病院

- 常に共同体の意識を備え、開放的で自由な雰囲気を築き、責任を持つ
- こころを癒し、こころの健康を取り戻して回復できる環境を提供できる病院とする



「こもれび」を創刊しました



院長
横田 周三

コミュニケーションの展開に期待します

春の訪れと同時に広報誌が創刊されるとのこと。6月から導入される電子カルテにより、どのようなコミュニケーションが展開されていくか、楽しみにしています。広報誌といえば、個人的な印象としては、やはり集団精神療法的な側面が強い印象があり、以前、東京海上寮で勤務され、現在川越同仁会病院長の鈴木先

生が広報誌を利用して凝集性を高めたお話を思い出します。

昨年は当院も40周年の年に当たり、区切りの年でしたが、今年からはまた、新しい一年を皆さんと歴史を刻んでいくことになりましたので、一緒に成長できたら、と考えています。よろしくお願いいたします。

社会と向き合う病院をめざして…

複雑な社会の変化とともに、病院を取り巻く環境が変わり、病院に対する患者さんのニーズも大きく変わってきたと思います。このような、激動の中でも病院に対する「信頼」はいつの時代でも決して変わることはないと思います。サービス業として信頼される病院、患者さんと向き合い、社会と向き合うことを認識し、真摯

に対応することを実践していける病院を目指しています。「おひとり」「おひとり」に満足していただくために、私たちがしなければいけないことはまだまだ限りなくあります。

病院理念のもと、患者さんやご家族の皆さまに満足していただけるように努力していきたいと思っています。



事務長
松山 陽子

各部からのメッセージ

診療部

診療部長 宮谷 高史



診療部には医局と薬局が所属しています。医局は、医師常勤4名、非常勤9名、の計13名が在局し、薬局は薬剤師常勤3名、非常勤4名からなっております。

各々の医師は、精神科の専門医であると同時に、当院の方針である「治療共同体理念に基づく力動的チーム医療の展開」を目指し各患

者さんの治療の統括者としてチームリーダーの役割を担っています。

診療上の工夫として、入院診療においては、極力悪性の退行を防ぐように構造化された治療プログラムを用意するとともに、朝には各部署の全職種が集まり、情報の共有化を行い、病院が課題集団として機能できるよう心がけています。外

来診療においては、社会復帰の援助として、デイケア、デイ・ナイトケア、訪問看護、通院リハビリテーションなどのプログラムを提供しています。

また、薬剤師は、通常の薬局業務の他、患者さんが有効かつ安全な薬物療法を不安なく受けられるように、適切な説明や助言を行うよう努めています。

診療部は、今後も日々研鑽を積むよう心がけていく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

コ・メディカル部

コ・メディカル部長 植村 照子



私たち、コ・メディカル部は、精神保健福祉士（PSW）、作業療法士（OT）、臨床心理士（CP）の職種からなるリハビリテーションを担う部署です。チーム医療を目指してがんばっています。

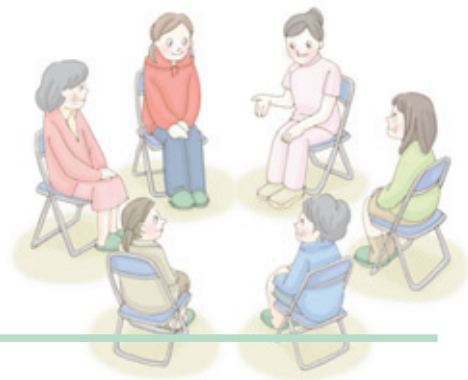
PSWは、患者さんのさまざまなニーズにお応えし、より良い社会生活

のために援助を行っています。他機関との連携も含めた多岐にわたる相談業務に励んでいます。

OTは、さまざまな患者さんご病状に応じた作業療法プログラムを展開しています。社会復帰を視野に入れ、毎日たくさんの活動に取り組んでいます。

CPは、カウンセリングなどの技法を用いて、症状の軽減や新しい自分の発見ができるような援助を行っています。

臨床経験が浅く、まだまだ至らないスタッフですが、総勢20名、患者さんとともに成長することを目指し、がんばっていこうと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



看護部

看護部長 麻生 美子



看護部は看護師37名、准看護師38名、看護補助者30名で構成しています。その中で働きながら勉学に勤しんでいる学生10人(看護学生2名、准看護学生8名)が頑張っています。

看護体制は2交替制で、プライマリナーシング方式を導入しています。入院すると数日以内に看護ケ

アを担当するプライマリナーース(主治看護師)が決定され、退院に至るまでの看護上の責任を持ちます。

病院理念のもとに

- ①患者さんのそばにいて、訴えや悩みをよく聴きましょう。
- ②精神科の専門知識・技能を向上させましょう。
- ③チーム医療の一員としての、自覚

を持ちましょう。

治療共同体に基づいた看護を展開しています。

栄養部

管理栄養士 江口 尚美



栄養部は管理栄養士・栄養士・調理師・調理員、総勢20名のスタッフにより構成されており、入院患者さんとデイケア、デイ・ナイトケアの利用者を対象に、患者さんのニーズに応じた食事の提供をさせていた

だいています。常食の方には、セレクトメニューでお好みの料理を提供しています。

また、2カ月に1回のバイキング料理や、季節に沿った行事食など楽しく食事をしていただけるように工

夫しています。

栄養士による個別の栄養指導・集団栄養指導・料理教室・栄養教室を実施し、患者さんへ食事と栄養のサービスを行っています。

創刊の夢・ひとこと

■医局 城 勇士

今年は申年。「申」は「魔去る」にかけて、縁起の良いものとされているそうです。あやかりたいものです。

■医局 中林 潤

福岡の生活も2年目を迎え、年を増すごとに新しいことにチャレンジするのが億劫になってきます。今年はあえて今までやったことがないことを始めてみたいと考えています。いつも1年生の気持ちを忘れないようにしたい。

■南1病棟 奥村 麻里

新しい環境と生活とでバタバタした1年だったので、今年はゆっくりゆとりを持った生活がしたい。

■南2病棟 関口 京子

勤務して8年が過ぎ、今年は子どもたち3人の受験が重なりましたが、今以上に仕事と家事と両立していきたい。

■南2病棟 池田 直樹

准看護師の資格を取得できました。病棟スタッフの方々にいろんなことを教わりながら、仕事に力を注ぎたい。

■南2病棟 桐 奈都子

入社して11カ月が経ち、まだ戸惑うこともいっぱいありますが、何事も前向きにチャレンジして行きたい。

■南3病棟 斉藤 喜美子

去年は退職、職場復帰と慌しい1年であった。2004年は、今までの看護経験を活かし、新しい看護を身に付けたい。

■南1病棟 山下 太佐

去年は准看学校の試験に落ち、1年間悔しい思いをしたけど、今年は准看学校に合格したので、新たな気持ちで看護について勉強したい。

■北病棟 濱崎 健二

去年は初心者看護師であったが、今年は初心を忘れず、自分で考え判断し、看護に責任がもてる看護師になりたい。

■北病棟 柴山 昭子

入社してすぐは、とまどいが多く、ドキドキしました。(今現在も…) 今年は1人ひとりの患者さんをよく見てリーダー業もちよっとずつ覚えていき、判断力を身につけていきたい。

■OT 吉田 真生子

まずは社会人らしく、仕事は計画性をもって前向きに、あと個人的には家事に力を入れる予定。

■OT 美間坂 里絵

勤務して3年目になりますが、健康管理と常に学ぶ気持ちを忘れずにがんばっていききたい。

■事務(保母) 稲田 奈生子

今まで以上に仕事や趣味をがんばって内面的にも磨きをかけていきたい。

■事務(保母) 原田 奈美

マイペースで仕事と子育てに励み、充実した1年を送りたい。

■栄養部 坂口 哲子

美味しく安全な食事を提供するために、少しでも早く仕事をこなせるようにしていきたい。



とし成人式を迎えたスタッフ



南3病棟 木本 生美

今年成人を迎えたので、自分の行動に責任を持ちたいと思います。



栄養部 吉田 明日香

20歳という区切りを迎え、これまでの自分自身を振り返り、新しい自分になれる様に頑張りたい。



南1病棟 佐藤 良

成人式を迎えるにあたって、大人という意識が深まり、責任感を大切に、目標に向かって頑張りたい。



南3病棟 興梠 亘

今回、成人式を迎えるにあたって、立派な大人として自覚のある行動をとれるようにしたい。



南3病棟 畠 千香子

成人を迎えるにあたって、自分のことだけで精一杯にならず、気持ちにゆとりをもち、人に対して思いやりの気持ちをもっていききたい。



治療プログラムあらし

- **コミュニティ(職患)ミーティング(各病棟毎、1回/週)**
入院されている方々が病棟内でよりよい生活をすごすための、大切な話し合いの場です。
 - **患者スタッフ(P-S)ミーティング(各病棟毎、1回/週)**
入院から退院するまでの期間、少人数のグループに分かれお互いの交流を図っていく場です。
 - **心理教育ミーティング(毎週水曜日)**
入院の方を対象に、OTプログラムとして行っています。
 - **新入院患者ミーティング(毎週土曜日)**
初めて入院された方で入院後4週以内の方を対象に、入院に関する疑問や、不安を語り合う場です。
 - **社会復帰フォーラム(第4水曜日)**
既に社会復帰された方と退院を準備されている方が、意見交換する場です。
 - **うつミーティング(毎週木曜日)**
外来・入院患者さんを中心にうつを語り合うミーティングです。
 - **アルコールミーティング(毎週月、水2回)**
外来・入院患者さんを中心に「断酒」を目的として、互いに話し合う交流を深めるミーティングです。
 - **断酒会(第3土曜日)**
自分の酒害体験を語り、仲間の体験に耳を傾けながら自分自身を振り返る場です。
 - **摂食障害ミーティング(毎週水曜日)**
拒食・過食などの食と行動の問題を語り合う場です。
 - **肥後椿**
患者さんやご家族それぞれの思いを語り、聴きながら摂食障害についての理解を深めていきます。
 - **作業療法(OT)**
作業を通して、物・人・空間・時などを共有する治療技法です。
 - **デイケア・デナイトケア**
社会復帰の援助を考え、自立した生活が行えるように生活のリズムを整えるなど、それぞれの目標に応じたプログラムを行っています。
 - **訪問看護**
看護師や、精神保健福祉士が、定期的に家庭訪問し、相談や援助業務を行います。
 - **特殊外来**
児童思春期の不登校・ひきこもり、発達の問題を抱える方を対象とします。
 - **家族の心理教室(第2土曜日)**
患者さんのご家族を対象に「心のABC、薬のABC」という心理教室プログラムを実施しています。
 - **摂食障害の栄養教室(第4水曜日)**
摂食障害の患者さんとそのご家族を対象に栄養士が指導を行っています。
 - **摂食障害の家族教室(毎週水曜日)**
摂食障害という病気について学びながらその対応などを話し合う場です。
- ※肥後椿・断酒会は当院に通院されていない方もご利用いただけます。

新デイケア棟内にオープンします！

● 喫茶「saki向」

「向」は「向かう」や「さき」などに表現されるように、今よりちょっと成長できることを願い、「saki向」と名づけました。

● 介護支援センター「もくれん」

木の生育と蓮が連なって実をつけることから、かざり気なくありのままに、チームで手をつなぎ合っているように名づけました。

向陽台病院ではさまざまな情報発信を行っています

そよ風

「そよ風」は、向陽台そよ風家族会が発刊する交流誌です。家族会のお知らせや報告をいろいろと掲載しています。

栄養だより

身体にいい食べものや食べ方の情報が満載です。旬の食材やイベントの献立などもありますよ。

DIニュース

DI(ドラッグ・インフォメーション)、つまり安全な薬剤情報・取り扱いについてのさまざまなトピックスを集めています。

地域生活支援センター「なでしこ」 支援センター便り

日常生活の悩みや問題を抱える方のための相談の場、憩いの場として併設された「地域生活支援センター・なでしこ」の活動を紹介しています。



編集後記

「こもれび」は、優しい光が差し込むとか、今は小さな光でも、さんさんと降り注ぐ太陽に向かっていくようにとの、職員達の声をもらいました。いつまでも皆さまに親しんでいただけるような広報誌を目指していきますので、お目通しよろしく願います。(広報委員会)

イベント2004

そよ風家族会 定例会 1月	お花見 4月	消防訓練 5月	運動会 6月
夏祭り 8月	敬老会 9月	文化祭 11月	クリスマス会 12月



●診療科目 精神科・心療内科

●病床数 220床

●外来診療時間

月～金曜日 午前9時40分～12時30分

午後2時30分～5時

土 曜 日 午前9時～12時30分



- 産交バス 向坂バス停から徒歩3分 明治乳業バス停から徒歩3分
- 車 植木ICから10分
- JR 植木駅下車 → タクシーで6分



医療法人横田会 向陽台病院 鹿本郡植木町大字鑑田1025 TEL:096-272-7211

<http://www.koyodai.or.jp/>